令和６年度第２回東京都 地域医療構想調整会議	資料７－３

地域連携の推進に向けた事前アンケートの回答

東京都保健医療局医療政策部

事前アンケートの結果（西多摩）

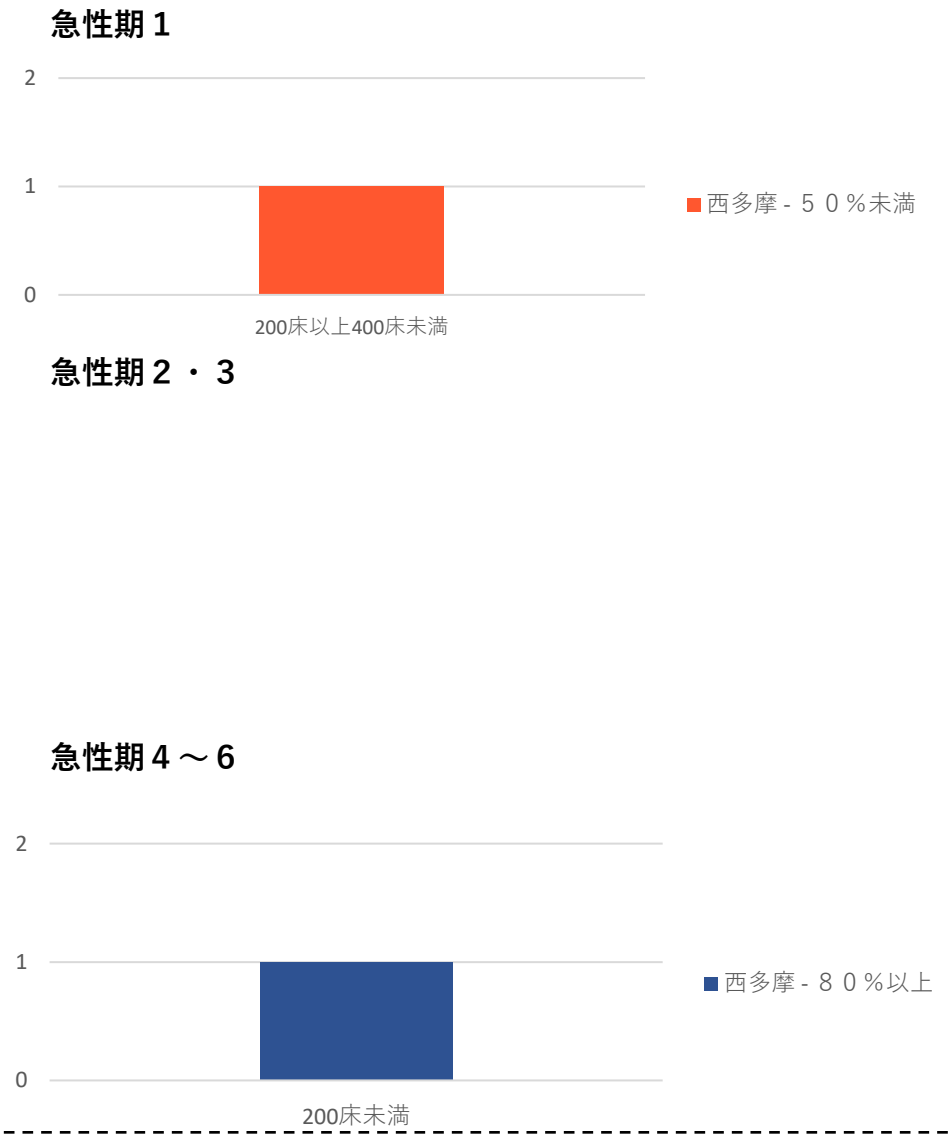
病院としての主な機能別の回答状況

病院としての主な機能	病院数
高度急性期	0
急性期/サブアキュート	2
回復期/ポストアキュート	2
慢性期	3
ケアミックス（急性期・回復期）	0
ケアミックス（回復期・慢性期）	1
その他	1
計	9

許可病床数別回答病院数

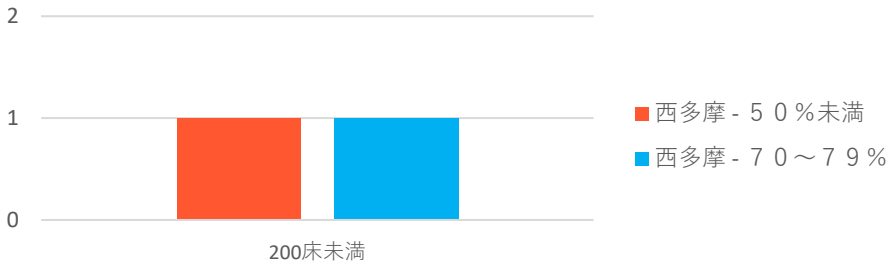
許可病床数	病院数
200床未満	7
200床以上400床未満	1
400床以上	1
計	9

■ 病床機能別稼働率【許可病床の規模別】



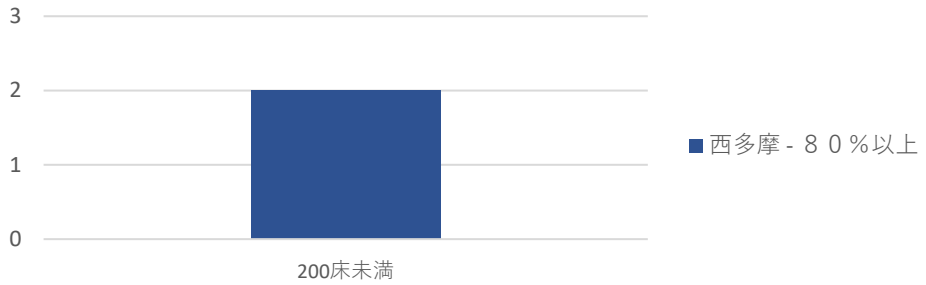
事前アンケートの結果（西多摩）

地域一般１～３



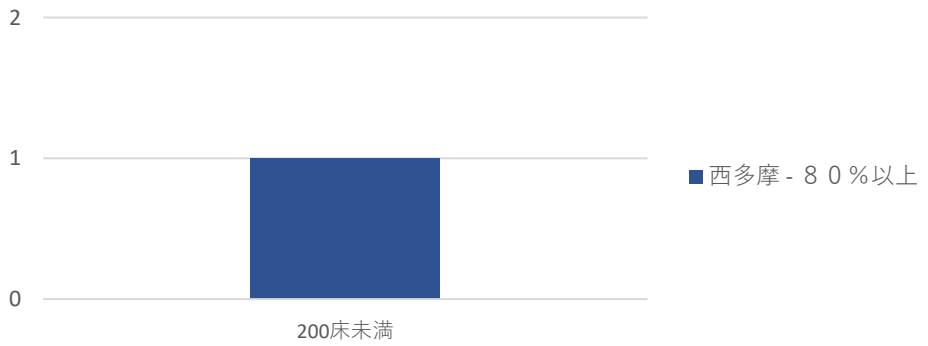
地域包括医療

地域包括ケア１・２



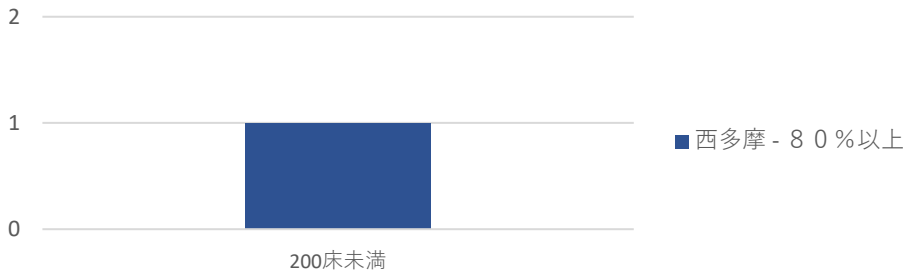
地域包括ケア３

地域包括ケア（療養病床）



事前アンケートの結果（西多摩）

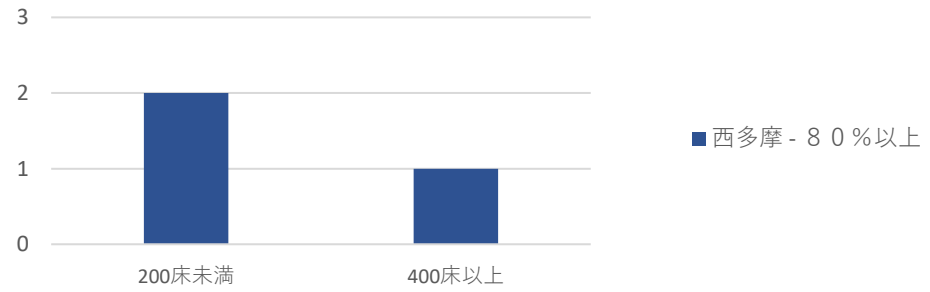
回復期リハ１・２



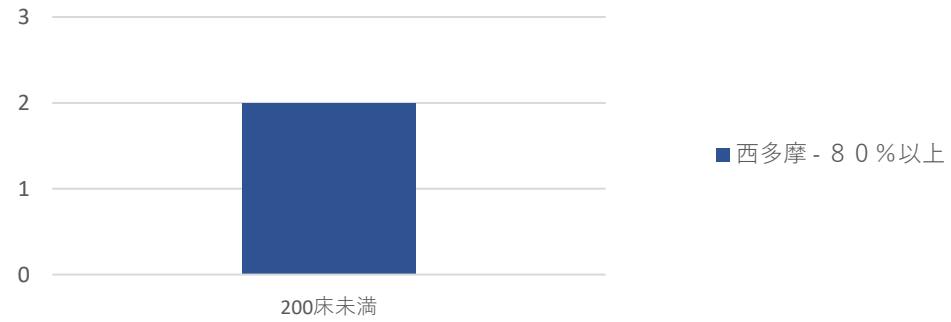
回復期リハ３・４

回復期リハ５

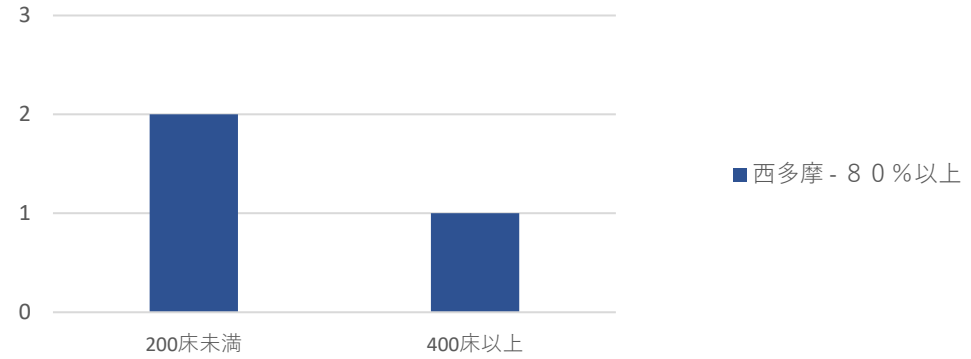
療養病床



介護医療院

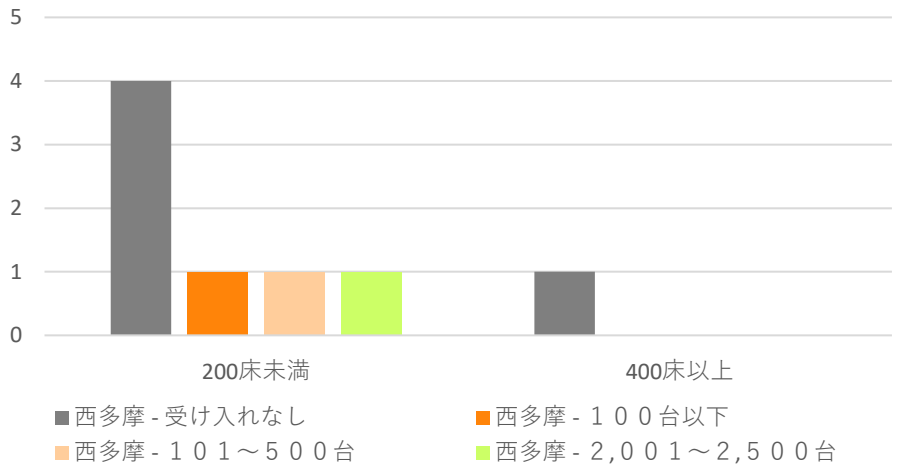


その他（精神病床、障害者施設等病床）



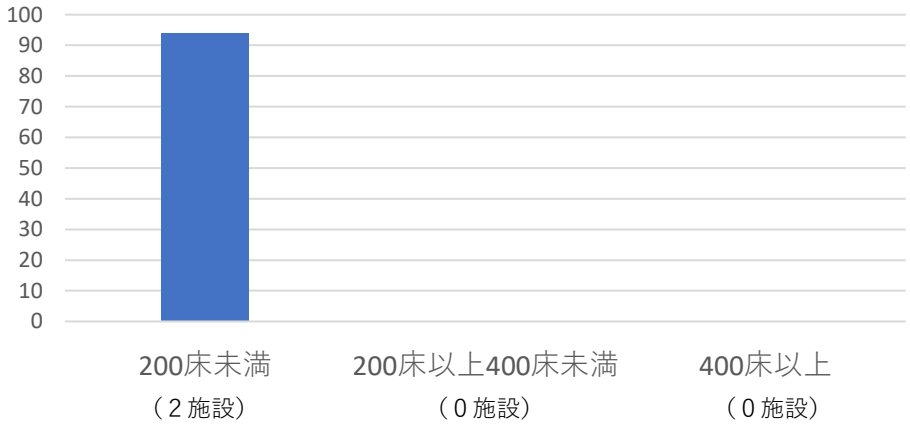
事前アンケートの結果（西多摩）

■ 令和5年度救急車受入台数

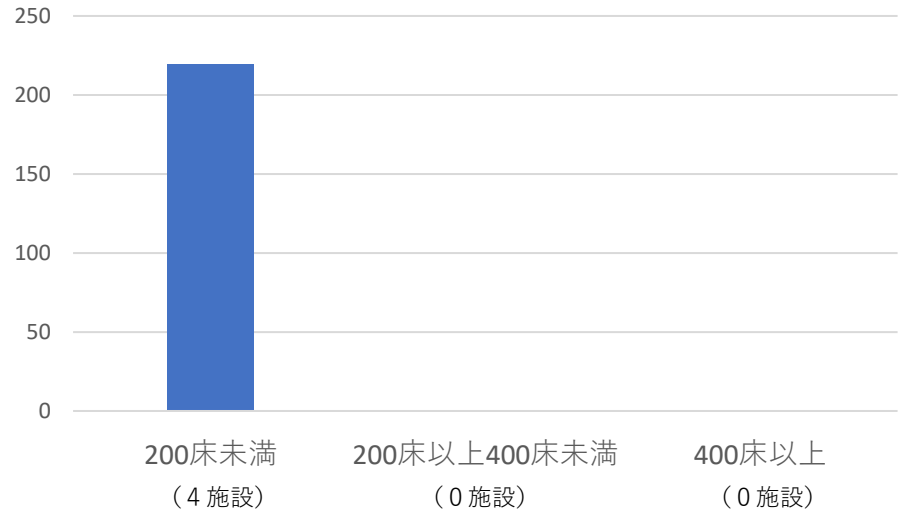


■ 令和5年度地域連携入退院患者数

転院上り（人／年）（合計）



転院下り（人／年）（合計）

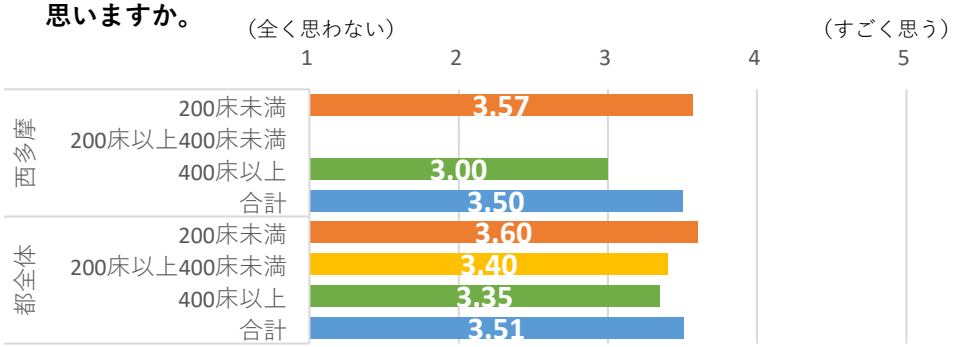


事前アンケートの結果（西多摩）

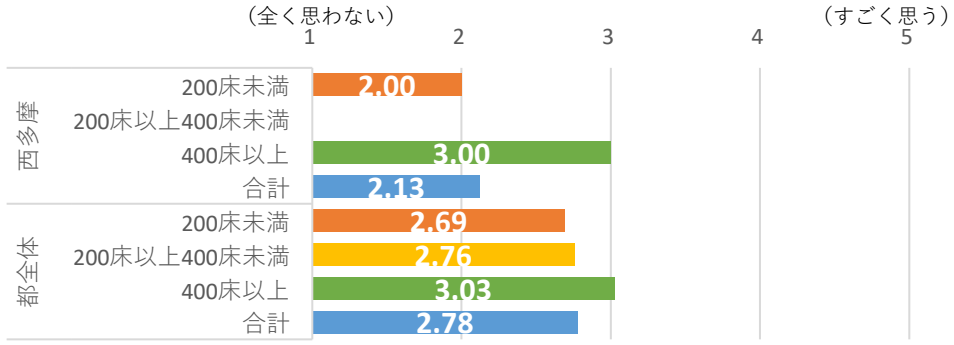
■ 連携等に関する影響について

《緊急搬送・予定転院》

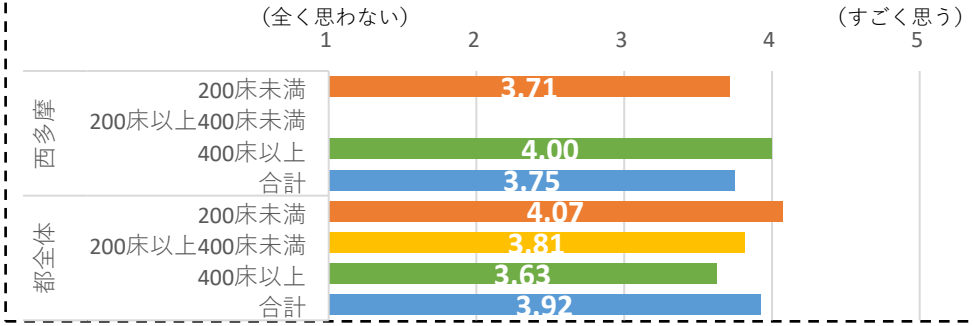
平日・日昼の緊急搬送において、相手先の病院と円滑になされていると思いますか。



休日・夜間の緊急搬送は相手先の病院と円滑になされていると思いますか。

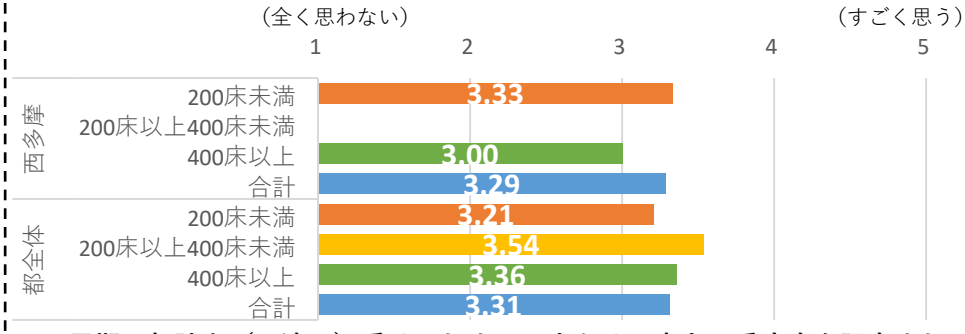


予定転院において、相手先の病院と円滑になされていると思いますか。

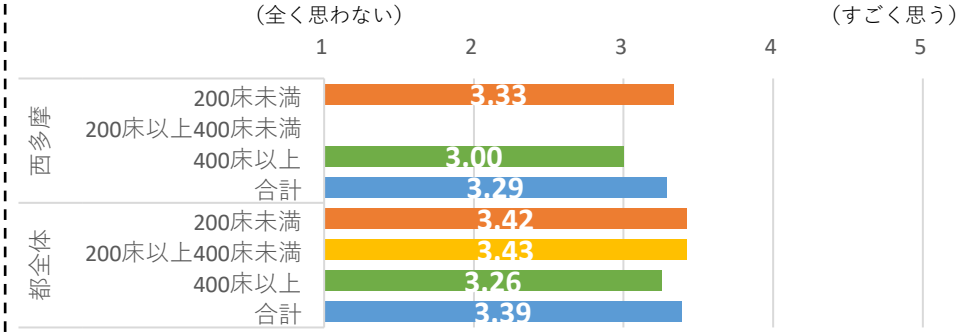


《受入側としての要望》

早期の転院を（迅速に）受け入れするに当たり、診療科を絞れば受け入れは可能と思いますか。



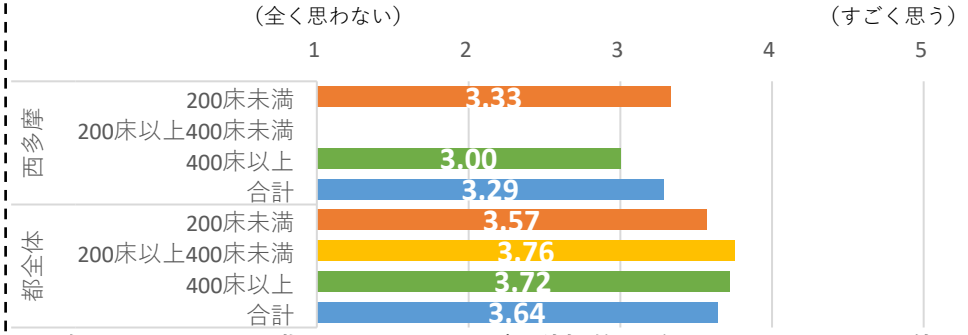
早期の転院を（迅速に）受け入れするに当たり、患者の重症度を限定すれば受け入れは可能と思いますか。



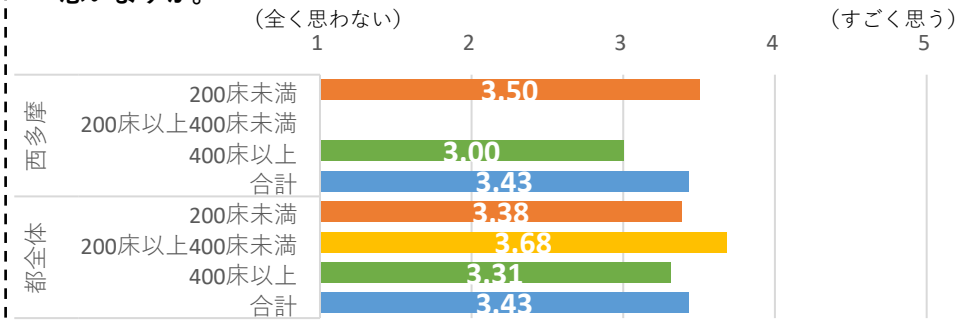
事前アンケートの結果（西多摩）

《自院の課題》

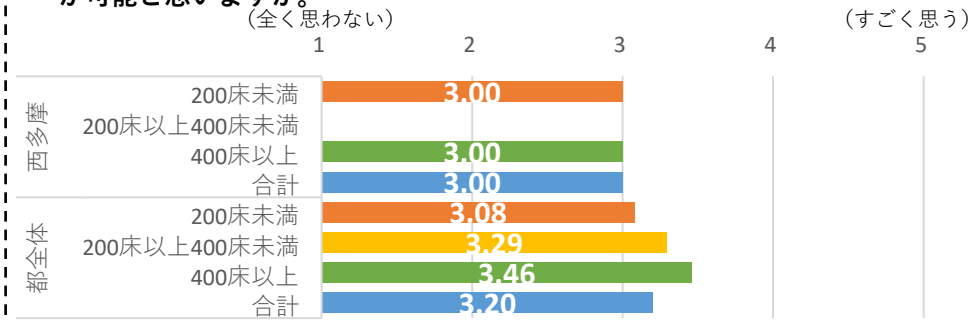
自院の医師が潤沢であれば、積極的に受け入れすることが可能と思いますか。



自院の医師以外の職員が潤沢であれば、積極的に受け入れすることが可能と思いますか。

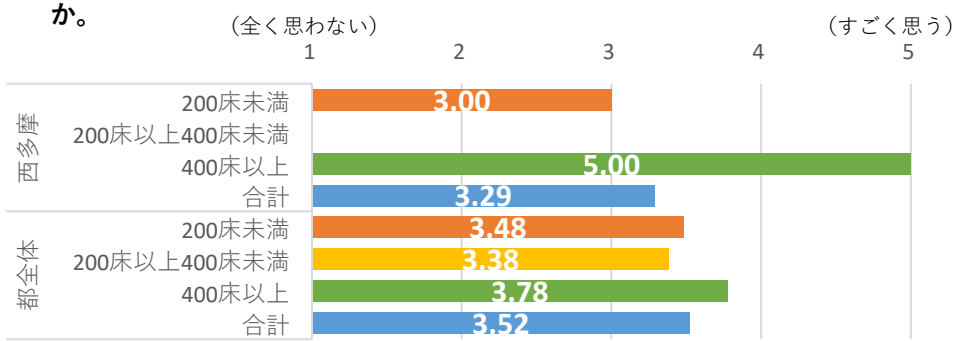


自院のベッドコントロールが改善されれば、積極的に受け入れすることが可能と思いますか。

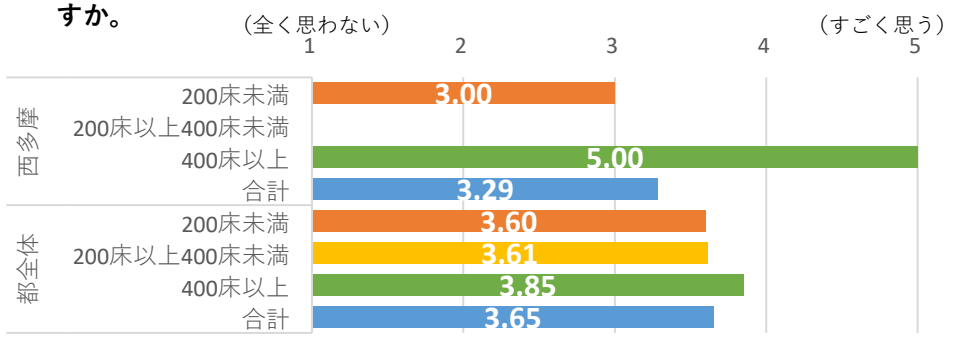


《患者側の課題》

患者側の理解さえ早く得られれば、早期に転院させることが可能と思いますか。



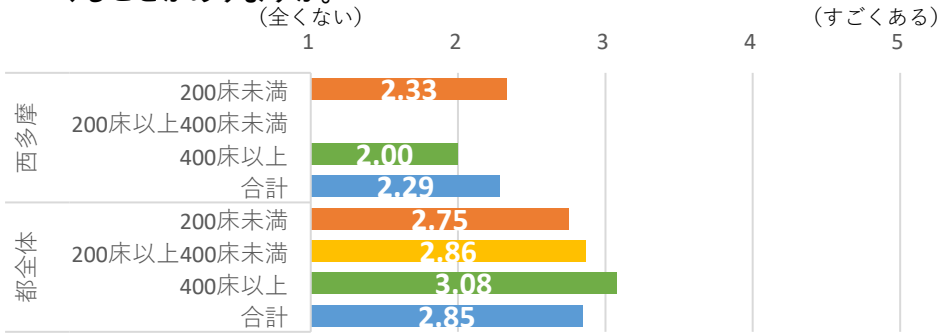
患者家族の理解さえ早く得られれば、早期に転院させることが可能と思いますか。



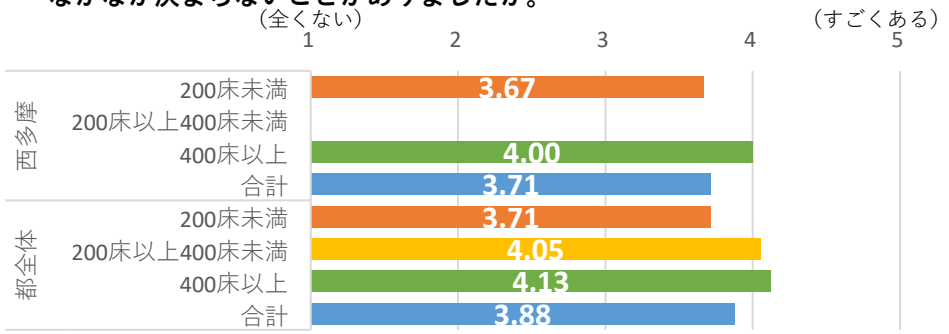
事前アンケートの結果（西多摩）

《下り転院の問題（主に急性期病院が回答）》

過去に病状が落ち着いたことで転院した患者が、悪化等で再び自院に戻ってくることがありますか。

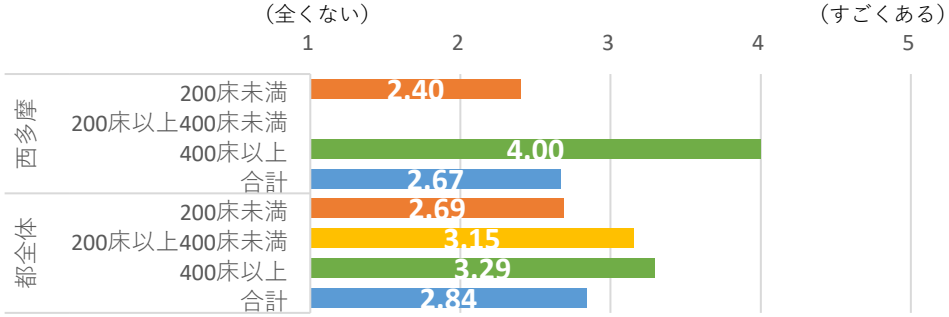


過去に様々な病気を抱えた（複雑な）患者を転院させるにあたり、転院先がなかなか決まらないことがありましたか。

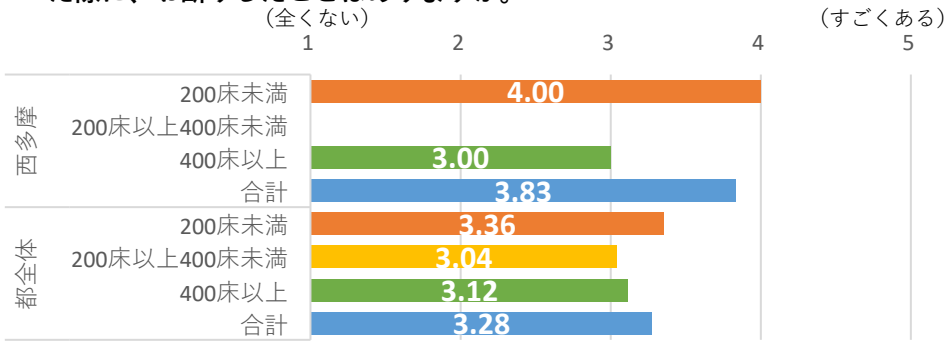


《下り転院の問題（主に回復期・慢性期病院が回答）》

過去に病状が落ち着いたことで転院された患者が、悪化等で再び前医に再入院されたことがありますか。



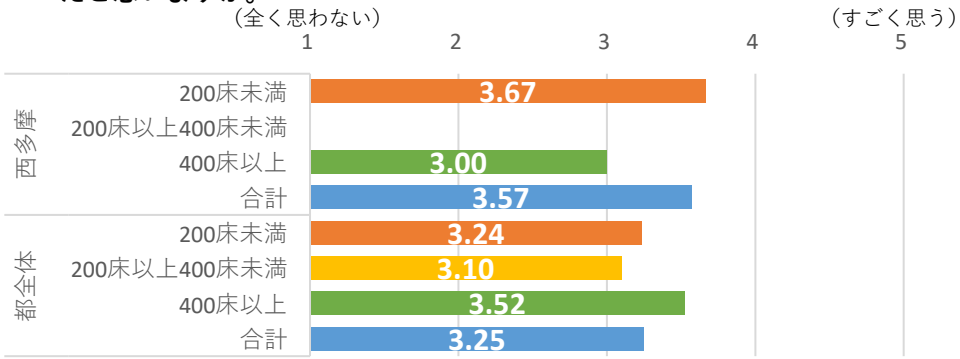
過去に急性期病院から様々な病気を抱えた（複雑な）患者の転院依頼があった際に、お断りしたことはありますか。



事前アンケートの結果（西多摩）

《連携の進捗度》

平成２８年の地域医療構想策定当初と比べて、全体的に地域での連携が進んだと思いますか。



■ 連携等に関する影響への対応

自院や地域として対応している取組

・医療相談室の増員を計画し、病病連携・病診連携の拡充を図っている。

事前アンケートの主な意見（西多摩）

自院や地域として対応していくべき取組の考えやイメージ

・診療科目の枠を超え、地域の医療機関を断続的にネットワーク化できるようなシステムやハブとなる組織が必要と考えます。
・意思表示をする代理人が必要

■ 地域連携の推進についての意見

・地域連携の推進に十分な予算をつけてあげてください。各医療機関から担当者を業務終了後などに集めて会議を行うにしても、会場費や軽食代などの経費も必要でしょうから、主催側の持ち出しにならないように手当してあげてください。